

2022年度 第6回理事会議事録

2022年9月8日(木) 19時30分、WEB上にて理事会を開催した。

定刻に、理事 伊藤伸が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	27名
本日の出席理事数	23名
監事総数	2名
本日の出席監事数	0名

■出席役員：会長) 宇田英幸、副会長) 伊藤伸、茂木有希子 理事) 赤間公一、石川麻子、犬塚功一、大橋幸子、押野修司、北村ミチル、阪井之哉、鈴木香織、鈴木真弓、鈴木康子、高橋啓吾、高橋暢介、田坂翔太、原裕如、平田樹伸、逸見康子、丸達也、安永雅美、吉田朋子、渡部慶和

■委任役員：理事) 岡部拓大、小池祐士、神山真美、野村健太
監事) 土屋美樹

■欠席役員：監事) 川俣実

■他出席：北部ブロック長) 分須 暢 法人管理部) 駒崎かんな 敬称略

■議 題：

I. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

第1号議案 第5回理事会議事録について【法人管理部：安永】(資料1)

内容を確認し満場一致で可決された。

第2号議案 2022年度基礎研修会開催(案)について【高次脳：渡部】(資料2)

基礎研修会はオンライン・オンデマンド配信とし埼玉県理学療法士会・埼玉県言語聴覚士会員が参加できるように後援依頼を行う。

内容を確認し満場一致で可決された。

第3号議案 OT協会との「会員の個人情報の取扱いに関する覚書」の締結について【法人管理部：大橋】(資料3)

協会員＝県士会員と進めるために、協会員データと士会員データの突合作業を行っていく。日本作業療法士協会と「会員の個人情報の取扱いに関する覚書」を締結する必要がある。県士会として「会員の個人情報の取扱いに関する覚書」を作成した。

内容を確認し、満場一致で可決された。

第4号議案 研修会等参加費規程について【法人管理部：大橋】(資料4)

研修会参加費規程を作成した。参加者区分について規定の文言・名称について確認、継続審議とする。

第5号議案 会員ニーズ調査について【総務部：丸】(資料5)

会員のニーズを調査し今後の事業計画に活用することを目的に、会員ニーズ調査を作成した。内容に関して満場一致

で可決された。アンケート結果の会員への公開について討議し、定期便内で簡潔にご報告する等、会員のみが閲覧できる方法を検討することとなった。

第6号議案 災害発生を想定した訓練の実施について【災害対策：阪井】（資料6）

日本作業療法士協会に、毎年行っている災害発生を想定した訓練の参加の有無および参加方法を回答する必要がある。士会役員レベルでの連絡網による被災情報、安否確認で実施することで満場一致で可決された。

第7号議案 後援依頼【総務部：丸】（資料7）

2023年1月22日開催の第31回埼玉県理学療法学会の後援依頼があった。満場一致で後援することが可決される。

II. 報告・確認事項

1. 各部局活動報告

- 1) 事務局長：大橋事務局長より以下の報告があった。

研修会等参加費内規作成し、大筋がメール審議承認された。

- 2) 法人管理部：安永部長より報告事項なし。

- 3) 総務部：丸理事より以下の報告があった。

臨時便を発送する予定。発送物がある場合は、9月12日までに締め切りとする。

- 4) 財務部：北村財務部長より、報告事項なし。

- 5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。

第1回学術部研修会の企画がまとまり「研修会情報シート」完成し、事務局、広報部へ提出。

第1回学術部研修会の進捗：8/17 公文書の発送。講師の大嶋先生よりグループワークを実施したいと連絡があり検討の結果、会員限定90名、zoom meetingにて実施することとし計画を立てることとする。

2023年1月24日（火）19：00～20：30 第2回学術部研修会。テーマ「目標設定について」講師：友利幸之介先生（東京工科大学）内諾済み。

- 6) 学会支援委員会：小池理事欠席だが、BAND上で以下の報告があった。

第31回埼玉県作業療法学会 オンデマンド配信終了。全体参加者数：226名（オンライン+オンデマンド登録者数：135名、オンデマンド登録者数：91名）オンライン参加者実数：約90名。

オンデマンド視聴登録者数：64名、オンデマンド視聴回数：234回。日本作業療法士協会ポイント申請準備中。

- 7) 教育部：鈴木香織理事より報告事項なし。

- 8) 生涯教育委員会：神山理事が欠席であるが、BAND上で以下の報告があった。

現職者共通研修会の申し込みを開始している。

9月14日 現職者共通研修「作業療法生涯教育概論」、10月5日 現職者共通研修「職業倫理」、10月12日 現職者共通研修「作業療法における協業・後輩育成」、10月26日 現職者共通研修「作業療法の可能性」、11月14日 現職者共通研修「日本と世界の作業療法の動向」。

- 9) 養成教育委員会：岡部理事より以下の報告があった。

8月27-28日に第2回臨床実習指導者講習会（オンライン）を実施。滞りなく実施できた。

現在、本講習会の前に接続テストを2回行っているが、当日の受講者の通信状況などにより、受講の支障ある者が毎回若干名いる。対策必要か。

また非協会の講習会費については10月の理事会に審議事項として提出させていただきたい。

- 10) 職能開発事業部：鈴木真弓理事より以下の報告があった。

養成教育委員会とともに11月の臨床実習指導者講習会の申請書類を作成した。

11) 広報部：伊藤理事より以下の報告があった。

国際副機器展（ここから委員会）向けのA0版ポスターを製作した。

養成校学生向けのOT協会県士会入会促進のためのパンフレットの準備作業中。

広報部会、SNSチーム作業部会、彩り編集部会、電子定期便部会、学生向けパンフレット部会開催。

中高生向けの広報の強化に向けて、養成校との協業体制の構築にむけた取り組みを検討中。

広報部員の増強を検討中であり、養成校教員の方に声をかけていきたい。

12) 地域リハ推進部：平田理事より以下の報告があった。

POSトークの準備を進めている。

13) 地域包括ケア推進部：野村理事欠席のため報告なし。

14) 認知症地域支援推進部：吉田理事より以下の報告があった。

9月6日認知症基礎研修～しゃべくりOT～開催 受講者19名。地域支援は参加可能な会員が参加している。

15) 災害対策部：阪井理事より以下の報告があった。

12月17日埼玉県災害リハビリテーション研修会開催予定。

9月25日にシミュレーション訓練実施。

16) 制度対策部：石川理事より以下の報告があった。

県士会HPに掲載されている診療報酬・介護報酬等 関連情報を更新しました。

17) 各ブロック

・東部：小池理事は以下の報告があった。

今夜はリモートで語らNight！：2022年11～12月企画中。

・西部：逸見理事より以下の報告があった。

夏キャン報告。各ブロックの養成校とのコラボ企画が無事終了した。

8月29日に振り返り会議を実施し、今年度の反省と共に来年度の課題を抽出した。

養成校とのやり取りは対面やオンラインで方法は異なりましたが、各ブロックの色が出ていて大きな問題なく進めることができた。オンライン相談会については、実際に参加してくれた高校生がどのくらいいたかが、把握し辛かったことから、手応えが分かりにくかったという声が多かった。高校生以下にOTという職業を知ってもらうための取り組みも必要だが、OTになりたい学生にもしっかりと伝える機会をつくることも重要ではないかという意見があり、夏休みに行う養成校とのコラボ企画としてやることと、年間を通してOTという職業の広報活動が必要なのではないかという意見が上がった。各ブロックの取り組みは、それぞれ参考になる点もあり、来年度に向けてまた対面なのかオンラインなのかを含めて社会状況に合わせて行っていくことになった。広報部の制作した広報誌は分かりやすかった為、今後の夏キャンでの活用も視野に入れると良いという話も上がった。来年度もポスターを制作する予定であり、まずはブロック長だけで2023年1月頃に夏キャンについて会議を予定している。

9月7日にブロック定例会実施。

・南部：犬塚理事より以下の報告があった。

12月20日（火） 語らnight 動画から学ぶ現場のOTの臨床推論研修会”

・北部：分須氏より以下の報告があった。

9月2日 北部ブロック会議 研修会準備 2023年度学会準備。9月9日北部ブロック会議実施。

2023年1月20日 北部ブロック研修 語らNight！開催予定。

18) 訪問リハビリテーション振興委員会：高橋暢介理事より以下の報告があった。

10月30日（日）第11回埼玉県リハビリ三団体主催訪問リハビリテーション実務者研修会 BASIC コース9月

中旬頃より募集を開始。第2回会議は9月中旬～下旬に開催予定。

- 19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より以下の報告があった。
地域包括×MTDLP×ここくらでコラボ研修を行う予定。9月30日に書き方研修会開催。
- 20) 子ども支援委員会：田坂理事より以下の報告があった。
10月研修会の募集を開始する。
- 21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より報告事項なし。
- 22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。
基礎研修会の開催に向けて準備をしています。またアンケート報告書をもとに支援者との意見交換、ネットワーク構築を目的とした意見交換会を計画中。
- 23) 運転再開支援委員会：赤間理事より報告事項なし。
- 24) ここらとくらしの地域支援推進委員会：原理事より以下の報告があった。
10月1日開催予定のここらOT室の準備中。
10月5～7日第49回国際福祉機器展のさくらほりきりブースへの協力で各日4名(午前、午後2名ずつ)参加予定。展示用パネル3枚(埼玉県作業療法士会の紹介、ここらの紹介、妙技研修の紹介)作成中。
- 25) 第31回埼玉県作業療法学会：分須北部ブロック長より以下の報告があった。
詳細は話を進めていく。
- 26) 埼玉県パビリ専門職協会：渡部理事より報告事項なし。

2. 会長・副会長より

1) 宇田会長より

8月18日 寄居のお城 de カフェに参加。業務調整ができたので今後毎回参加予定。

9月10日 第2回47委員会出席 ハイブリッド開催を目指していたが感染状況によりオンラインとなった。
検討課題は組織率強化がメイン。

- ・組織力強化特設委員会立ち上げる？ 養成校をもっと巻き込む必要がある。
- ・石川は退会者数が入会者数を超えた→経済的事由が多い
→入会しないのも「お金がない」入ったら勉強しなきゃいけない→協会の仕事の重点は身分保障であること
をもっと協調→学校教育が大事
- ・養成校連絡会で学生向けに実態調査→7, 8割は奨学金もらっていて経済的に大変。
- ・会費は変わっていない。給料も横ばいという現状がある。
- ・各士会で入退会者数(退会者は事由も)の経緯を調査してシェアする。
- ・栃木と石川のサンプル報告がある。検討材料にしていきましょう。

9月19日 アルツハイマーデー 認知症の人と家族の会埼玉埼玉県支部の企画にこれでいいのだバンド演奏で参加。参加OTは4名。シーノ大宮にて13:30～16:00。

協会の依頼で業務をしている会員について。士会でも把握しておく必要あり。

ここくら委員としては、MTDLP×地域包括ケア×ここらのコラボ研修が楽しみ。精神科OTの飛躍に必須であり、実際は多くの方が困っているのが精神障害への対応である。寄与できるように技術研鑽したい。

三役会でナイトセミナーを理学療法士会のポイント

2) 茂木副会長

現場の大変さは変わらない。コロナに気をつけていきましょう。ナイトセミナー開催予定。ぜひご参加くだ

さい。

3) 伊藤副会長

研修会案内は、必ず丸理事に送付してほしい。丸理事が確認後に、ホームページに掲載する。

Ⅲ. その他

次回理事会：2022年 10月13日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は21時00分閉会を宣した。

2022年9月8日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会